

道総研の研究開発について

研究事業部

令和4年7月25日

道総研中期計画

第1期（平成22～26年度）

第2期（平成27～31年度）

第3期（令和2～6年度）

大きく変化する社会・自然環境の情勢

- ・ 地域人口の減少・高齢化
（札幌圏への一極集中）
→ 担い手不足
- ・ 気候変動，加速する温暖化
→ 一次産業への影響
→ 増える自然災害
→ カーボンニュートラル
- ・ 新型コロナウイルス蔓延
→ 働き方・人生設計の変化

進展する科学技術

- ・ ICT（IoT, AI）技術の急進
サイバー空間⇔フィジカル空間
→ DX・自動化・ロボット化
- ・ ゲノムテクノロジー

高まる道総研の技術力

- ・ 膨大な北海道データ
- ・ 多分野融合型組織の強み
（多角的視点と総合力）
- ・ 数十年先を見据えたチャレンジ

第3期中期計画の研究推進項目

※数値は令和3年度の課題数

(ア) 農業に関すること (232)

- a 豊かな食生活を支える農業及び食関連産業の振興
- b 環境と調和した持続的農業の推進
- c 地域の特色を生かした農業・農村の振興

(イ) 水産に関すること (103)

- a 地域を支える漁業の振興
- b 新たな資源の有効活用と高度利用の推進
- c 自然との共生を目指した水産業の振興

(ウ) 森林に関すること (95)

- a 森林資源の循環利用による林業及び木材産業の健全な発展
- b 森林の多面的機能の持続的な発揮

(エ) 産業技術に関すること (71)

- a 持続可能な地域づくりを支える産業の振興
- b 成長力を持った力強い食関連産業の振興

(オ) エネルギー・環境・地質に関すること (103)

- a 再生可能エネルギーや循環資源などの利活用の推進
- b 生活・産業基盤を支える環境の保全
- c 災害の防止及び地質資源の活用

(カ) 建築・まちづくりに関すること (39)

- a 暮らし・地域・環境を育む建築・まちづくりの推進
- b 省エネルギーと再生可能エネルギーの利活用の推進

重点的に取り組む研究推進項目

～ 総合力を発揮して取り組む研究の **3本柱** ～

(ア) 高品質・高品位な食料安定供給技術の確立と食関連産業の振興

(イ) 再生可能エネルギーなどの利活用と循環型社会の構築

(ウ) 生活基盤と産業振興に支えられた安全・安心で持続可能な地域社会の実現

道総研の研究制度

奨励研究

産業振興や地域課題の解決に向けた研究に取り組み、研究遂行・開発能力・普及能力の向上を図る

経常研究

基盤的・先導的研究，環境や資源の継続調査，地域・道のニーズに対応した調査研究

戦略研究

道の重要施策に関する多分野融合型研究
“3本柱”の柱ごとのプロジェクト研究

重点研究

各分野の将来像を明確にして、実用化，事業化を目指して取り組む研究

外部資金による研究

受託研究，一般共同研究，公募型研究

チャレンジプロジェクト

新たな産業・生活創造につながる、研究推進と事業化を両輪とするプロジェクト

技術指導，依頼試験，講演などを通じたフォローアップ